



## 埼玉県議会 9月定例会

### 県民の声が政治を動かした！

1977年生まれ  
香蘭女学校・早稲田大学政治  
経済学部卒業  
1男2女(18.17.14歳)の母  
防災士  
民主改革さいたま市議団  
元政務調査員  
2023年4月 さいたま市浦和  
区より県議会議員トップ当選

#### 議会報告

9月22日から10月13日にかけて埼玉県議会は9月定例会が開催され、知事から提出された議案28件、議員から提出された議案12件を可決しました。

今議会では、自民党県議団より提出された「埼玉県虐待禁止条例の改正案」が大きな話題となりました。生活と政治は密接につながっていることや、一人一人の声は政治を変えていく力があることが多くの方に伝わったのではないのでしょうか。これからも多くの方の声を聴き、議会へ届けてまいります。



埼玉県の来年度の予算について要望書をお渡ししました。詳しくは中面右下へ。

#### 埼玉県虐待禁止条例改正案をめぐる対応

私は、子育てはもっと社会全体で担っていくべきで、家庭の負担を減らしていくべきだと考えています。今後は会派でもプロジェクトチームを立ち上げ、子どもの居場所、預け先等の環境整備をすすめるとともに、あらゆるシーンで子どもの命、尊厳を守っていけるより良い条例案を提案できるよう動いていきます。

10月4日、条例案は埼玉県自民党県議団により議会に上程<sup>\*</sup>され、同日の本会議での質疑で、子どもたちだけの登下校や公園での遊びが「放置」にあたることが明言されました。6日の福祉保健医療委員会で審議され、自民・公明の賛成多数で条例案は可決。しかし、多くの県民の声を受けて、13日本会議で委員会で可決された条例案は取り下げられました。

ここでは、私が所属している会派「民主フォーラム」が条例案に反対の立場から行った質疑と討論(意見表明)内容を報告します。

※上程……議案を会議にかけること

#### 民主フォーラムが委員会で行った主な質疑と条例案に反対の立場からの討論のポイント

質問 「放置」の定義は？

自民党県議団からの回答 放置が禁止されない場所は存在しない

##### 反対討論の根拠

##### 〈子どもを預ける際の問題〉

- ・学童保育不足問題
- ・経済的理由や子どもの意志で預けていない家庭もある

##### 〈保護者の働き方への影響〉

- ・下校に合わせ就業調整せねばならない
- ・不登校で家から出られない子どももいる

##### 〈子どもの自由を奪う〉

- ・子どもだけで遊ぶ、一人で何かをすることで得られる成長の機会を奪う可能性